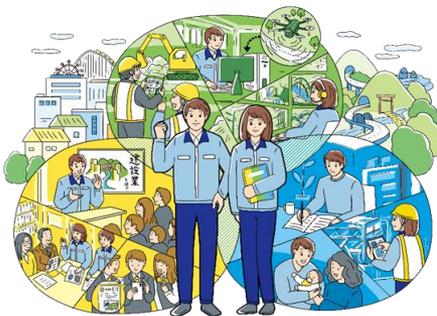


2-3. 「生産性の向上」の効果検証



活性化プラン2024



R 8 に向けた取組方針（案）

取組方針 3 生産性の向上

R 8 取組方針 （案）

◆ 令和7年度の取組を継続して実施する。

- ① 建設DX促進説明会（導入促進）では、導入が遅れている企業に対して建設DX活用の有効性についての理解を促し、情報提供を進めることで普及を促進する。
- ② 建設DX講習会（活用促進）では、ICT技術の習得をサポートし、ICT活用工事の拡大を図る。
- ③ 新技術による生産性向上につながる取組事例を紹介するガイドブックの掲載を拡大し、各企業の建設DX活用を促進する。

取組施策	取組項目	取組目標	R8計画	R8方針(案)
建設DXの導入	建設企業等のDX導入の支援	建設DX促進説明会の参加社数(累計)	900名(累計)	<ul style="list-style-type: none"> • 令和7年度の取組を継続 ① 促進説明会等で建設DX活用の有効性や好事例を紹介し、普及を促していく。
建設DXの活用	建設DX研修による人材育成	講習会の開催回数	5回/年	<ul style="list-style-type: none"> • 令和7年度の取組を継続 ② 建設DX講習会を通じて、実践的な内容を含めた技術者のスキル習得をサポートしていく。
	ICT活用工事の推進	3次元測量データの提供件数	ニーズ対応	<ul style="list-style-type: none"> • ICT活用工事実践企業のニーズに合った支援を検討
	BIM/CIMの活用、支援	BIM/CIM成果の活用工事件数(累計)	15件(累計)	<ul style="list-style-type: none"> • 令和7年度の取組を継続 • BIM/CIM成果の活用工事数を増やしつつ、好例を積極的に横展開していく。
建設DXの持続的な推進	新技術の活用	活用事例の紹介件数	15件(累計)	<ul style="list-style-type: none"> • 令和7年度の取組を継続 ③ 新技術などの活用事例の掲載数を増やしていく。

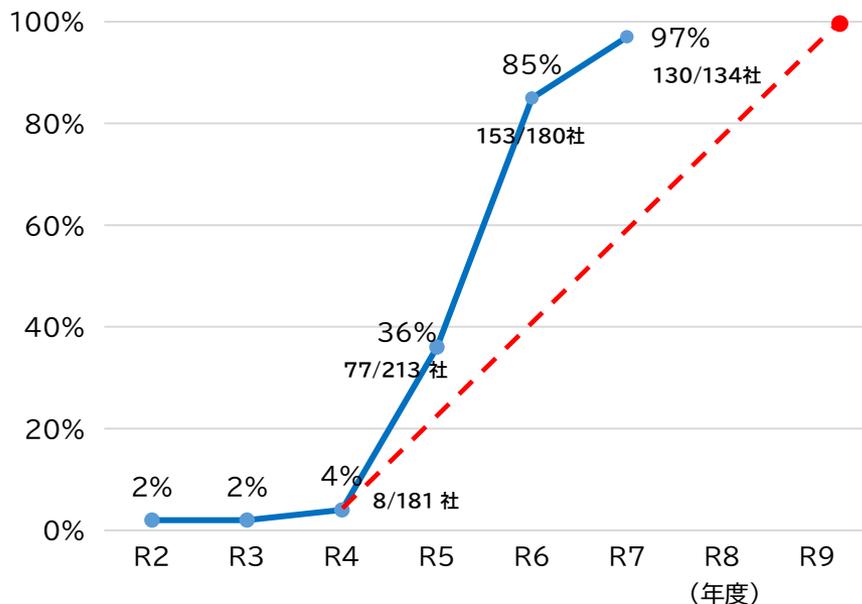


取組方針 3 生産性の向上

取組指標	現状値 (令和4年度)	目標値 令和6年度	目標値 令和7年度	目標値 令和8年度	目標値 令和9年度
Aランク建設企業のASP活用率 (ASPを活用(土木一式Aランク) / 三重県発注工事受注企業(土木一式Aランク))	4% (8社/181社)	30%	50%	80%	100%
	(令和5年度)	(令和6年度)	実績(R7年10月時点)		
	36% (77社/213社)	85% (153社/180社)	97% (130社/134社)		

プラン進捗管理

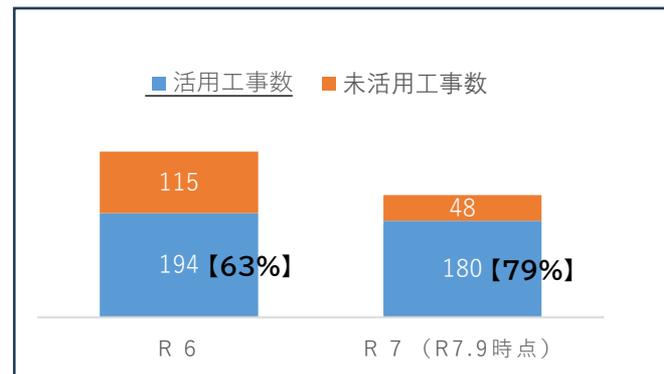
Aランク建設企業のASP活用率



取組指標:「県土整備部調べ」

参考

同じAランク建設企業のASP活用状況を、**工事毎**で見ると



・令和6年度
309工事中
194工事で
ASP活用したが、
115工事で未活用

・令和7年度
228工事中
180工事で
ASP活用したが、
48工事で未活用

動向・傾向

- ASPの活用率について、令和4年度までは低い水準であったが、令和5年度から大幅に増加している。
- ASPを活用したAランク建設企業の中でも、条件等によってはASPを活用していない工事がある。